

産経新聞 28.12.30

### 【靖国参拝】 稲田朋美防衛相、就任後初の靖国参拝

稲田朋美防衛相は 29 日、東京・九段北の靖国神社に参拝した。稲田氏の靖国参拝は今年 8 月の防衛相就任後初めて。「防衛大臣 稲田朋美」と記帳し、玉串料は私費で納めた。参拝後、稲田氏は記者団に「今の平和な日本は戦争で家族とふるさとと国を守るために出撃した人々の命の積み重ねの上にある。忘恩の徒にはなりたくない」と述べた。

稲田氏は 26、27 両日の安倍晋三首相による米ハワイ・真珠湾訪問に同行し、28 日に帰国したばかり。稲田氏は記者団に、首相の真珠湾訪問やオバマ米大統領による 5 月の被爆地・広島訪問に触れながら「最も熾烈（しれつ）に戦った日本と米国が今や最も強い同盟関係にある。そういうことも報告し、未来志向に立って日本と世界の平和を築きたいという思いで参拝した」とも説明した。

稲田氏は例年、8 月 15 日に参拝してきたが、今年はアフリカ東部ジブチでの自衛隊の活動視察のため参拝を見送った。稲田氏自身は参拝の意向を持っていたが、米国や中韓両国との関係悪化を懸念した首相官邸の難色を配慮したとされている。稲田氏は自民党保守派の若手リーダーと目されてきただけに不満の声が上がっていた。国会審議で靖国参拝をめぐる言行不一致を指摘され涙ぐむ場面もあり、「自衛隊を預かる身として資質に欠ける」（自民党国防族）とも批判された。稲田氏は支持基盤となる保守派の支持をつなぎとめるためにも靖国参拝が必要だと判断したとみられる。